

あしたかホームハロウィンにて  
託児所の子ども達との4年ぶりの交流

## 認知症サポーター養成講座で学ぶ 「福祉と教育の連携」

ぬくもりの里障がい統括施設長

山田 芳治

伊豆の国市役所を定年退職後、再任用職員として2年間福祉事務所理事兼生活支援コーディネーターとして勤めさせて頂きました。その時に、認知症サポーター養成講座を受講し併せて認知症キャラバン・メイトとして登録しましたが、5年間のブラUNKもあり改めて、地域社会参加の為に講座を受講し、大仁地域包括支援センター及び一般のメイトさん達と伊豆の国立大仁小学校の4年生81名の子ども達を前に、認知症サポーター養成講座に臨みました。

当日は、認知症は病気である事やその方々への接し方、また、早期診断・早期治療が大切である事の理由を分かりやすく説明した後に、寸劇方式で三つのクイズを行いました。寸劇では、私は、認知症のお爺さんの役をさせて頂きました。(誰しもが将来、我が行く道になるかもしれません。)

以前、危機管理監時代の防災講話で大規模地震発生時に部屋の中で、家具・猫・テレビ・柱時計・テーブルの上のコップで、「最初に動くものは何でしょうか?」の質問に、子どもは「猫」が最初に動くとの回答、なんと素直な意見でした。

別の質問では、地震発生時「ドア

を開ける・ガスの元栓を閉める・テーブルの下に隠れる」では、大人の意見で「我が家はエコキュートの為、ガスは使用しておりません。」との意見も出ていました。

子どもは、まだまだ未成熟で経験も少ない中、想像しながら多くの意見が出てきます。大人は、豊富な知識と豊かな経験の中での意見です。どちらも大切なことだと思います。

養成講座後、学校教育の中でも障がいを持たれた方々への接し方や思いやりを醸成する意味でも、インクルーシブ教育が進む事を願っています。

伊豆の国市地域自立支援協議会の課題としても、障がいを持たれた方々へ理解を深める為に同様の講座を参考にした取り組みが出来ないかとの意見も出されておりました。

最後に、多種多様な取り組みを行い、高齢者や障がい者への理解を深める機会を増やす事は、情報の共有化、また、その家族は疾病を広く知っていただく事で情報の開示となります。情報共有と情報開示の両方がバランス良く進むことで、要配慮者が安全で安心して生活が営める共生社会を望みます。

## めくもりの里



コロナ前同様に盛大に開催する検討を進めてきましたが演芸観賞のみ開催となりました。模擬店がなく寂しい思いがありましたが法被やねじり鉢巻きで雰囲気を高めました。しゃぼんダマンズの音楽に合わせ歌や手拍子で賑やかに始まり職員有志が練習を重ねた火舞いを披露し最後に打ち上げ花火を行いました。終始、沢山の笑顔を見させていただきましたが、屋外で行うイベントは利用者にも喜ばれ普段とは違う活気に包まれ元気の源が更に強くなりました。

※しゃぼんダマンズは、法人内職員で構成されたバンドです



## 夏の思い出

# 納涼祭



## みはるの丘浮島

コロナ禍にて中止していた納涼祭。昨年も感染予防し参加者を制限して計画しておりましたが雨にて中止となり、今年が4年ぶりの開催となりました。

来園者の制限をさせていただきましたが、天候にも恵まれ、無事に予定通り実施することができました。ご家族の参加もあり、利用者の笑顔が多く見られ一緒に素敵な時間を過ごすことができました。

行事の開催は、準備から実施まで多くの方が携わることで成り立ち、利用者の皆さんはもちろんのこと職員にも刺激を与えます。引き続き様々な感染症に



は油断ができませんが、利用者の皆さんにとって刺激のある生活が送れるよう、職員一同、行事等を計画していきたいと思えます。

## 沼津市立高尾園



高尾園では、昨年度より「音楽と食を楽しもう」をメインテーマに、サマーフェスティバルを開催してきました。

音楽部門では、グラウンドにステージテントを設け、利用者有志による太鼓演奏、和太鼓演奏、利用者カラオケ大会、ギター演奏、ダンスタイムなど大いに盛り上がりました。

食事部門では、からあげポテト、たこ焼き、フルーツ、焼きそば、ジュース、かき氷など、キッチンカーや地域の皆様のご協力のもと、充実した食事メニューが提供されました。

これまで、コロナ禍の影響で外出の機会が減っていた利用者でしたが、屋外のイベントで、普段とは違った食事を召し上がり、大変楽しまれていました。また、多くのご家族の皆様にもご来園いただき、賑やかで活気ある祭りになりました。

来年度も、さらにバージョンアップしたサマーフェスティバルの開催を目指していきます。

## サマーショートボランティア活動 4年ぶりの活動受け入れ再開!



この夏、沼津虹の家では静岡県ボランティア協会の主催による夏休みの「サマーショートボランティア」の受け入れを4年ぶりに再開しました。このサマーショートボランティアは沼津虹の家が開設以来、毎年受け入れを行って来た活動です。しかし、コロナ禍の3年間は学生たちを直接受け入れることはできず、参加学生の手づくりによるビニール製のガウンやエプロンを簡易防護服として寄付していただいたり、利用者の皆さんへの絵手紙を作成していただくなど、陰ながら施設を支えていただく様な活動に制限された状況でした。

今年は中学生3名、高校生3

名の6名がそれぞれ5日間の施設でのボランティア体験をしました。利用者の皆さんも久しぶりの中高生の来園に緊張した面持ちでしたが、お互いにすぐに打ち解けて有意義な時間を過ごすことができました。参加した学生たちの動機はそれぞれ異なりますが、皆さん充実した活動ができた事と思います。

ここでは2名の参加学生の感想を紹介します。



沼津市立高校中等部3年

尾上 まり

私はサマーショートボランティアを機に、初めて「生活介護事業所」という場所を訪れました。そこで出会ったのは、様々な種類の障がいを抱えた方々でした。私は今まで障がい者の方と深く関わったことがほとんど無かったため、最初は上手くコミュニケーションを取る事が出来るかとても不安でした。そんな

な気持ちと共に始まった5日間のボランティア活動。この5日間、利用者さんとの関りを経て学んだことがあります。それは「利用者さんは心まで障がい者ではない」ということです。利用者さんの中には、身体が不自由な人、脳に障がいを持つ人など、色々な方がいましたが、みんな私と同じ「人間」であることに変わりはありません。「障がい者」ではなく「一人の人間」として多くの利用者さんと接することが出来ました。人は見かけで判断してはいけないということでした。それをとても実感した5日間になりました。とても貴重な体験が出来て良かったと思います。

加藤学園高校 1年

高島 夕依

学校で先生に夏休みにボランティア活動ができる所があるというので、「夏休みに色々な経験をしたい」と思っていました。それに、普段の自分には知らない障がい者支援施設という場所でのボランティアというのが素敵に思えたからです。実際に来てみてワクワクする気

持ちもありましたが、色々な方がいて緊張もしました。自分がここに來ることで逆に職員さん達に迷惑をかけるかも…とも思いました。1日目はあまり上手く手伝えなかったし、利用者さんともそんなに話が出来ませんでした。2日目から頑張ろう！と決意しました。そうしたら1日目より色々な人とお話しできたし、お仕事も任せられました。また、利用者さんとオセロで遊ぶこともしました。日が経つにつれ、みんなで笑い合いながらカルタやトランプで遊び、職員さん達も笑顔で接してくれて、少しでも誰かの役に立ち、誰かを笑顔にできていたら嬉しいなと心から思いました。

これからも沼津虹の家では様々な活動を通して学生さんや地域の方を受け入れ、少しでも障がいについて理解をいただけるよう共に歩んでいきたいと思っています。





ケアハウスは日常生活や今後の一人暮らしが不安に感じられる方で、自立した生活・共同生活に対応できる方が入居しています。

ケアハウスに入居されている方の中には以前、犬を飼っていた、犬が好きだから飼いたいとおっしゃる方が数名います。「自分の散歩のときに一緒に散歩に連れて行けば大丈夫だよ」と提案されることもあります。現実問題としてケアハウスで犬を飼うことや個人の居室で犬を飼うことは散歩以外の問題もたくさんあります。

そこでケアハウスでは初めてのドッグセラピー（犬と触

れ合おう）を開催することにしました。

遊びに来てくれたのは、ボーダーコリーのウランちゃんとトイプードルのくるみちゃんとの二頭です。

主に若くて元気いっぱいウランちゃんと一緒にボール遊びをしたり、おやつをあげたり、撫でたりと普段は触れ合えない犬達と短い時間ではありましたが触れ合い、皆さん楽しそうに参加していました。

その日の夜から「次はいつ来る?」「毎日連れてきてよ」など次のドッグセラピーを心待ちにしている入居者さんが複数いて、楽しみな行事が一つ増えました。次回も是非開催したいと思っています。



## 移動図書館 はじめました

沼津市立高尾園に毎月、移動図書が見え入所者の方々が喜ばれています。

沼津市立高尾園では本を好む方が多数おり、ジャンル問わず、漫画・小説・雑誌・図鑑・童話などを好まれ、直接購入する方もおりますが、貸出という部分では、園内の図書コーナーを利用する方法があります。読むのが早く、外部より寄付を戴きながら、不定期に入れ替えることもありました。

また、市内の図書館へ公用車で月に一回程度借りに行く外出支援も行っていました。これでは参加できる入所者は限られてしまうという課題もありました。



そこで、今年から市で行われている各地域へ本を貸してくれる移動車「移動図書」の利用が始まりました。

変化として、移動が大変な方や外出を嫌がる方でも、毎月玄関前に移動図書が来園され、負担なく、ゆつくりと本を選べる事。貸出に必要なカードも条件が揃えば直ぐに作る事ができます。

しかも、本を十冊も借りられるので、自分の時間を利用してたくさん読めるのです。

利用者の声として「身体の状態関係なく、ゆつくり選べうれしい。」「楽しい時間が増えて良かった。」との声があり、以前の図書館への外出よりも本を利用する方が増え、園にとっても、個々にとってもプラスになり良かったです。

# 第14回 ふれあいの集い ~未来につながる絆~



障がい部門のイベントとして行っている、『ふれあいの集い』未来につながる絆は今年で14回目を迎えました。新型コロナウイルスの影響で令和2年、令和3年の2年間は実施できませんでした。しかし、昨年は規模を縮小し文化交流という形で伊豆の国内市のあやめ会館にて再開することができました。



ふれあいの集いが始まった第1回目は今から15年前、第10回〜第10回までは沼津市立高尾園のグラウンドを会場にし、運動会形式で行ってまいりました。今年はおもくせい苑横の駐車場で開催する予定でしたが雨天により、あおばの家を会場とし、沼津虹の家、あおばの家、プラム、もくせい苑、サポートセンター絆、沼津市立高尾園の6施設の利用者、保護者及び関係者約150名が一堂に会し、田方ゆめ



ワークのご協力の下、パン食い競争を行いました。屋外ブースではハーブの試飲会や縫製品の販売、また土屋建設のご協力により農産物の販売も行いました。そのほかにも交流ダンスやレクリエーションを通じて、他施設との交流や社会参加を図ることでき、親睦を深めながら心に残る楽しいひとときを過ごすことができました。



社会福祉法人春風会「第14回ふれあいの集い」

## ~未来につながる絆~

### プログラム

開催日時：令和5年10月4日(水)	
13:00~14:30	
開催場所：ぬくもりの里 大駐車場 (伊豆の国市 田方福祉村内)	
13:00	開会式 実行委員長 (もくせい苑 岩本 竜太)
13:02	春風会理事長挨拶 石川 三義 様
13:07	伊豆の国市長挨拶 山下 正行 様
13:12	来賓紹介
13:15	ラジオ体操
13:20	施設紹介 ①あおばの家 (生活介護) ②虹の家 (生活介護) ③もくせい苑 (就労継続支援B型) ④プラム (就労継続支援B型) ⑤サポートセンター絆 (地域活動支援センター) ⑥沼津市立高尾園 (救護施設)
13:40	パン食い競争 (利用者、保護者、来賓、職員) ハーブ試飲会 (提供：沼津市立高尾園)
14:00	物販及び交流ふれあいコーナー ★自主製品、農産物販売 (プラム・もくせい苑) ★交流レクリエーション (ダンス) ★ふれあいコーナー (輪投げ・ストラックアウト)
14:27	閉会式 副委員長 (沼津市立高尾園 鈴木聖史)
14:30	解散
協力：公益財団法人復康会 田方ゆめワーク 株式会社 土屋建設	



## 障がい部会

## 中伊豆放課後 児童クラブ

今年の中伊豆放課後児童クラブは、一年生から六年生までの28名です。「ただいまあ〜」と元気に帰ってきた子ども達を「おかえり」と迎えます。下級生は上級生の行動から色々なことを学び、上級生は下級生の面倒を見ています。今年は特に一年生が多く人数の半分を占めてにぎやかです。

子どもたちは集団生活の場である学童で、遊んだり、宿題をしたり、団らんしたり、一緒におやつを食べるなど時間を守り活動しています。

夏休みは、熱中症警戒アラートが出て外遊びができなかった分、居合道の剣舞、スライム作り・交通安全教室・お楽しみ会・コンサート・司書さんによる読



み聞かせ・人形劇等を楽しむことができました。

今後子どもたちが安心して過ごせる学童保育を目指し、保護者の方と子ども様子を共有し、子育ての手伝いができたらと、考えています。

たくさんの方の夢中になれる経験に出会えることを願いつつ、支援員全員で奮闘しています。



## 放課後児童クラブの活動

## 天城放課後 児童クラブ

夏休みは長い間を過ごすため子ども達が充実した時間を過ごせるように色々な工夫をしました。

毎日のプログラムをもとにゲームや運動遊び、熱中症に気をつけながら水遊びなどの他にイベントとして図書館の「出前講座」読み聞かせや工作、体操教室、交通安全教室、居合道教室、オカリナ演奏などのボランティアの方々にお世話になりました。子ども達は体を動かす、作る、聴く、触れるなど普段では出来ない貴重な体験をしました。

夏祭りでは準備の過程や雰囲気も味わいながら、学年縦割りグループでリーダーを中心に行動しました。感染症予防として一ヶ所に集中することを避け、



運動会遊びの輪投げやストラックアウトやペットボール運びなどのゲームは体育館で、缶積み・豆つかみ・駄菓子屋さんごっこなどは部屋で行いました。グループで力を合わせて競技したり個人で挑戦したり最後には友達同士でゲームカードの点数や買物の品を見せ合ったり楽しそうにしていました。

そんな子ども達の様子を見ながら支援員の私達も連携をとりながら準備をしてきた事に充実感を覚えました。これからも年齢の違う子ども達が生活することで社会性や協調性が育つように安全で安心して過ごせる場であるように努めていきたいと思っています。

# 子ども園運動会

## なかいず認定こども園

4年ぶりに中伊豆中学校のグラウンドをお借りしての運動会開催、しかも朝からの降雨。開催を決定する段階からドキドキの1日がスタートしました。絶対に運動会を成功させるぞという思いで、全職員が協力して雨が降る中グラウンドにラインを引き、用具をこども園から運び、子どもたちの登園を待ちました。その甲斐あって、開会式の前には雨はすっかり上がり、演技中はむしろ暑いぐらいの陽気になりました。

保育者と子ども達がしっかりと話し合い、練習や準備を進めてきたので、普段練習していた園庭と場所が変わり、周りにご家庭の皆様がたくさん応援していてもほとんどの子どもたちは元気いっぱい演技をすることができました。

今回の運動会では、普段の保育や子どもたちの発想を生かしながら作り上げる遊戯、勝敗にこだわらず親子のふれ合いを重視して考えた親子競技、力いっ

ぱい走って自分の力を確かめたり友だちと協力し合ったりしながら、勝つことの喜びや負けることの悔しさを体験するかけこやリレー競技という3つの種目をそれぞれの学年が行いました。どの種目にも、保育者の狙いがあります。子ども園にとっては、運動会という行事も大切な保育活動なのです。

3年間応援の方の人数を制限してきた運動会ですが、今年はおじいちゃんおばあちゃんなど多くのお客様にも参観してもらいました。進行も無理なくスムーズにでき、閉会式もほぼ予定した時刻通りに行うことができました。素晴らしい運動会になったと自画自賛しているところです。



## あまぎ認定こども園

今年の運動会のテーマは年長組の海賊ごっこの流れから『海賊』に決まり、クラスごとに海賊旗を作って飾ったり、競技内容も海賊にちなんだものになりました。

さて、毎年運動会を通して子ども達の成長を感じる瞬間があり、特に年長児のリレーにはドラマがあります。1組対2組で勝負をするのですが、今まで2組は毎回大差で負けてきたそうです。しかし、負けた時に2組が全く悔しそうでないことが気になりました。もしかしたら勝った経験がないからでは？勝つ喜びを知らなければ勝とうとする気持ちも湧かないのでは？ということで、総練習では職員がリレーに加わり、一計を講じてみました。職員同士の時にはお互いに速度を調整し、2チームの差を縮めて子どもにバトンをつなぐようにすると最後まで接戦になり、ついに2組が1勝することのできたのです。その時の嬉しそう

な2組の子ども達の顔が忘れられません。また勝つのが当たり前だった1組が負ける悔しさを経験したことも大事なことだったと思います。本番では誰もが全力で走り、全力で応援し、勝ったことを喜び、負けたことを悔しがる。そして、一人ひとりに『次は負けないぞ!』という気概が感じられました。

子どもには一瞬にして成長する瞬間があり、その瞬間の感動こそが私達の仕事の原動力なのかもしれません。さて来年はどんなドラマが生まれるでしょうか。



# 4年ぶり！の法人大運動会開催



10月1日(日)、新天城ドームにおいて、家族を含めて210名が参加して、コロナ過で開催できなかった大運動会を4年ぶりに開催することができました。

春風会の福利厚生制度においては、法定福利厚生は勿論のこと、法定外福利厚生においても充実しています。

レクリエーション事業においては、施設の枠を超え、法人全体の職員相互の親睦と心身のリフレッシュ及び日頃の運動不足の解消など、健康増進を図ることを目的とするものです。その中で、ソフトボール大会は、平成16年にあしたか太陽の丘グラウンドで第1回大会を開催し、現在は会場を新天城ドームに移して開催しています。



焼きそば・焼き芋・豚汁やコーヒー等模擬店もオープンして楽しんでいきます。

バレー・ソフトバレーボール大会は、平成18年に伊豆の国市大仁体育館で第1回大会を開催し、現在は狩野ドームを会場として開催しており、子供の部として、輪投げ・玉入れゲームやストラックアウトなどを行い、参加者全員が楽しめる企画となっております。

日帰りバスツアー旅行は、平成22年に沼津千本松原海岸で実施した「地引網とバーベキュー大会」が発端となっており、子供達に多くのことを経験して欲しいとの思いから、親子でも楽しめる催しとして、平成24年に「りんご狩りとわさび漬け



体験」を企画するなど、数々の親睦旅行を実施しています。

健康増進の取り組みとしては、平成23年から、脳ドックにおけるMRI検査の費用助成を実施し、40歳以上の多くの職員が利用しています。また、乳がん検診における超音波検査の併用や40歳・50歳時の付加健診の費用助成も実施しています。

休暇制度の充実として、特別休暇は、10年以上勤務した時及びその後10年ごとに5日の休暇が付与、また、有給休暇を取得しやすいよう誕生日休暇の名称を付して取得に取り組み、成人祝い金制度も令和3年から実施しています。広報活動として、『社内報』は「はるかせ瓦版」を平成22年から年6回発行し、現在は年4回の発行で10月に76号を発行しています。

項目	活動内容等
スポーツ大会	1. バレーボール・ソフトバレーボール大会 13回実施 (H23年度大会の第6回大会-176名参加) 2. ソフトボール大会 15回実施 (H28年度大会の第13回大会-153名参加) 3. 運動会について 第1回大会 (H30年-178名参加)、第2回大会 (R1年-200名参加)
日帰りバスツアー (施設間の交流と子供たちに多くの経験を体験してもらう)	1. 長野諏訪大社参拝と安曇野りんご狩りとわさび漬け体験 77名参加 (H24) 2. 山梨勝沼ワイナリーとぶどう狩り、富士屋ホテルでバイキング 49名参加 (H25) 3. 東京スカイツリーと東京ドームホテル・浅草ビューホテルでバイキング 141名参加 (H26) 4. 東京スカイツリーと浅草散策 107名参加 (H27) 5. 八景島シーパラダイス 136名参加 (H28) 6. 富士急ハイランド 85名参加 (H29) 7. きかんしゃトーマス号乗車とトーマスフェア・車両基地見学 85名参加 (H30) 8. 品川マクセルアクアパークとハバナバイキング 46名参加 (R1)
健康増進の取り組み	1. 脳ドック検査の補助 (H23年度～) 2. 乳がん検診でマンモグラフィ(乳房エックス線)に超音波(エコー)検査併用・早期発見 3. 40歳・50歳時の付加健診の費用負担 4. 特別休暇・成人祝い金
*その他	*社内報「はるかせ瓦版」の発行 (R3まで法人編集委員会が担当)





## みはるの丘 浮島

植松 芳子 様

3階東棟にご入居されております芳子様は笑顔が素敵にご利用者様です。

色々な作業をして下さり、その眼差しは真剣そのもの。すごい集中力で行って下さいます。

以前に元気の秘訣は何ですか？と聞いたところ、いつも笑って、ご飯を食べる事と教えて下さいました。芳子様の笑顔は職員一同の癒しであり、幸せの笑顔だと思います。

今後も芳子様が笑顔で過ごしていけるように職員一丸となってケアに努めてまいりたいと思います。



## 伊豆中央 ケアセンター

中村 さと子 様

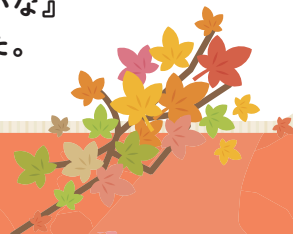
令和5年2月に伊豆中央ケアセンターへ入居し、今年米寿を迎えました。

インタビューに答えてくれました。

趣味は？『読書だねー。目もいいから眼鏡をせずに字を読めているよ』

どこか行きたいところは？『静岡に行って洋服をみてショッピングをしたい』

これからの希望は？『毎日元気で100歳目指して生きていきたい。家にみみちゃんというフランス犬ビションフリーゼを飼っていて、みみちゃんにまた会いたいな』と笑顔で話されていました。



# ご長寿紹介



## プレーゲあしたか 特養

佐野 ますよ 様

佐野ますよ様は大正8年9月25日生まれて104歳になりました。元々は市内の別法人の特養に入居されていましたが、病院を経て平成28年11月にプレーゲあしたか特養に入居されました。若い頃は旅館の女将や、その後アパートの経営をされていました。

食べるのが大好きで、100歳を越えてからも毎日午後8時過ぎに夜食を召し上がっていました。現在は、夜食は止めていますが、3食はご自分で召し上がっています。長寿の秘訣をご本人に伺うと、やはり「食べることだよ。お腹が空いて仕方ないよ」とのことでした。

これからも大好きな白米をたくさん食べ、元気に過ごして頂きたいです。



## ぬくもりの里

土屋 ちよ 様

土屋ちよ様は令和3年9月にぬくもりの里に入居し、今年104歳を迎えられました。

そんなちよ様にインタビューを行いました。

趣味は？「お裁縫」とのこと。  
どこか行きたいところは？「遊ぶところ。」とのこと。

「そして今はどこだって行きたくないね」と。これからの希望は？「これからも百姓をやる。お米をとるだよ。あかるんだらお米をとるだよ。百姓するのが一番いいだよ。」と、はっきりとした言葉で話されました。

面会に来られた娘様夫妻からも「私達もお母さんを目標に長寿をできますよう」とメッセージを頂きました。

## ご家族の言葉を励みに

## あしたかホーム

あしたかホームをご利用されておられました、ご遺族様から、お手紙を頂きました。今後も職員の励みとさせていただきます。

『風薫る季節となりました。庭の草むしりをしていると、草むしりの好きだった母が、芝生の中の小さな草を取りながら「象の背中の蚤を取るようだねーアッハッハ」と。楽しみながら過ごした事が思い浮かびます。冗談が好きで周りの皆を笑わせた明るい母が逝って早くも1年が過ぎました。あしたかホームでお世話になった数年間は、母が自分の現実と向き合い、人生のギアチェンジをした時でした。家族も最初母の落胆に対処しにくく思いましたが、職員さんの「専門家に任せてください」という言葉で強く励まされ、母と共に家族にとっても安心を得られた日々となりました。母はまだ自分の人生への前向きな感情を失いたくなく、自分の出来る事をしたと望む積極的な人でした。そのわがまを職員の方々にはよく

耳を傾けて下さり、母の作品を発表するステージを作って下さいました。誉め言葉を浴びせて下さり、母は有頂天。大いに自尊心を満足させて「まだまだいける」と自分に言い聞かせて楽しんだ事と思います。あと10日余りで100歳を迎える最後まで、意識がある時に皆さんで100歳を祝っていただいた思いやりのお気持ちに、母は元気を湧き立たせ、皆さんに感謝を見せるような満足の笑みを残しました。常々、笑みが人に与える力の大きさに驚いています。人生の最後は笑顔でいれたらと。残された人たちの寂しさも薄らぎ、いつまでも慰めとなると学びました。多くの優しい方々に見守っていただき、「幸せだよ。楽しい。ありがとう」と会うたびに笑ってくれました。多くの貴重な人々が、人生の最終ステージを迎え、力を添えて下さる人々にお会いし、喜びを与えるお仕事をされる皆様方に敬意を表し、感謝を申し上げます。今後のご健勝をお祈り申し上げます。』

春風会では今年度も静岡県  
認可を受け、『介護職員初任者研  
修』を開講しました。沼津地区は  
プレーグあしたか、伊豆地区は  
プレーグおおひとを研修会場と  
してそれぞれ毎週水曜日と土曜  
日の2日の講義を行います。春  
風会はこの講座を通じて将来に  
向けた介護の知識や介護技術の  
享受により地域における介護力  
の向上を目的としており、今年  
度は沼津地区に6名、伊豆地区  
では12名の受講生が集まり、講  
義や支援実技について合計130時  
間学習しています。

また、時期は重なりましたが、『介護職員実務者研修』も開講し



ており、この実務者研修は9名の方が受講しています。この実務者研修事業はユマニテクキャリアアカデミーが主催するもので、春風会では沼津愛鷹教室として平成29年より毎年あしたかホームを会場として5日間の介護過程講義と2日間の医療的ケアの計7日間のスクーリング授業を行っています。この実務者研修は介護福祉士国家資格を取得するための基礎的な知識や技術を学ぶためのものであり、資格取得への近道とも言えます。春風会では、初任者研修及び実務者研修の開講により、これからも地域介護力の向上に向けて取り組んでいきます。

# 社会福祉法人春風会 決算報告書

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

## 法人単位資金収支計算書

## 法人単位事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

(単位: 円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
介護保険事業収入	3,490,082,000	3,493,074,260	-2,992,260
老人福祉事業収入	25,305,000	25,600,377	-295,377
保育事業収入	289,134,000	290,610,201	-1,476,201
障害支援事業収入	20,600,000	18,760,156	1,839,844
障害福祉サービス等事業収入	336,359,000	338,070,137	-1,711,137
生活保護事業収入	235,890,000	232,136,151	3,753,849
その他の事業収入	31,065,000	31,085,900	-20,900
借入金利息補助金収入	136,000	135,000	1,000
経常経費寄附金収入	2,250,000	2,464,245	-214,245
受取利息配当金収入	3,534,000	3,337,040	196,960
社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収入	0	0	0
その他の収入	16,590,000	16,011,800	578,200
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0
事業活動収入計(1)	4,450,945,000	4,451,285,267	-340,267
人件費支出	3,225,721,000	3,195,453,312	30,267,688
事業費支出	713,662,000	681,827,816	31,834,184
事務費支出	459,272,000	429,930,737	29,341,263
就労支援事業支出	20,600,000	20,044,776	555,224
利用者負担軽減額	1,690,000	1,325,619	364,381
支払利息支出	406,000	405,000	1,000
社会福祉連携推進業務借入金支払利息支出	0	0	0
その他の支出	4,919,000	3,982,545	936,455
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
事業活動支出計(2)	4,426,270,000	4,332,969,805	93,300,195
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,675,000	118,315,462	-93,640,462
施設整備等補助金収入	17,523,000	19,273,000	-1,750,000
施設整備等寄附金収入	0	0	0
設備資金借入金収入	0	0	0
社会福祉連携推進業務設備資金借入金収入	0	0	0
固定資産売却収入	359,000	357,980	1,020
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)	17,882,000	19,630,980	-1,748,980
設備資金借入金元金償還支出	13,501,000	13,500,000	1,000
社会福祉連携推進業務設備資金借入金元金償還支出	0	0	0
固定資産取得支出	51,095,000	50,170,960	924,040
固定資産売却・廃棄支出	178,000	144,980	33,020
ファイナンス・リース債務の返済支出	10,572,000	10,551,108	20,892
その他の施設整備等による支出	0	0	0
施設整備等支出計(5)	75,346,000	74,367,048	978,952
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-57,464,000	-54,736,068	-2,727,932
社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金収入	0	0	0
社会福祉連携推進業務長期貸付金回収収入	0	0	0
積立資産取崩収入	149,482,000	149,407,920	74,080
その他の活動による収入	500,000	500,000	0
その他の活動収入計(7)	149,982,000	149,907,920	74,080
社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
社会福祉連携推進業務長期貸付金支出	0	0	0
積立資産支出	104,370,000	103,645,800	724,200
その他の活動による支出	500,000	500,000	0
その他の活動支出計(8)	104,870,000	104,145,800	724,200
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	45,112,000	45,762,120	-650,120
予備費支出(10)	16,850,000	16,239,000	611,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-3,916,000	109,341,514	-113,257,514
前期末支払資金残高(12)	1,615,007,225	1,615,007,225	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	1,611,091,225	1,724,348,739	-113,257,514

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
介護保険事業収入	3,493,074,260	3,498,744,859	-5,670,599
老人福祉事業収入	25,600,377	25,995,227	-394,850
保育事業収入	290,610,201	284,381,758	6,228,443
障害支援事業収入	18,760,156	13,404,128	5,356,028
障害福祉サービス等事業収入	338,070,137	336,813,814	1,256,323
生活保護事業収入	232,136,151	220,062,823	12,073,328
その他の事業収入	31,085,900	30,462,800	623,100
経常経費寄附金収入	2,798,336	1,903,151	895,185
その他の収入	0	0	0
サービス活動増減差額(1)	4,432,135,518	4,411,768,560	20,366,958
人件費	3,197,977,507	3,141,744,580	56,232,927
事業費	681,807,447	629,576,907	52,230,540
事務費	430,917,209	273,164,156	157,753,053
就労支援事業費用	20,235,947	15,551,081	4,684,866
利用者負担軽減額	1,325,619	1,658,606	-332,987
減価償却費	305,142,342	309,049,927	-3,907,585
国庫補助金等特別積立金取崩額	-149,727,493	-151,663,646	1,936,153
貸倒損失額	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入	91,959	0	91,959
その他の費用	0	0	0
サービス活動費用計(2)	4,487,770,537	4,219,081,611	268,688,926
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-55,635,019	192,686,949	-248,321,968
借入金利息補助金収入	135,000	245,000	-110,000
受取利息配当金収入	3,386,365	3,733,500	-347,135
社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収入	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
積立資産評価益	0	0	0
その他のサービス活動外収益	16,011,800	9,837,195	6,174,605
サービス活動外収益計(4)	19,533,165	13,815,695	5,717,470
支払利息	405,000	650,000	-245,000
社会福祉連携推進業務借入金支払利息	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
積立資産評価損	0	0	0
その他のサービス活動外費用	4,460,745	4,577,682	-116,937
サービス活動外費用計(5)	4,865,745	5,227,682	-361,937
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	14,667,420	8,588,013	6,079,407
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-40,967,599	201,274,962	-242,242,561
施設整備等補助金収入	19,273,000	15,628,850	3,644,150
施設整備等寄附金収入	0	0	0
固定資産受贈額	0	0	0
固定資産売却益	357,973	434,794	-76,821
サービス区分間繰入金収益	0	0	0
サービス区分間固定資産移管収益	0	0	0
その他の特別収益	4,875,678	916,516	3,959,162
特別収益計(8)	24,506,651	16,980,160	7,526,491
基本金繰入額	0	0	0
資産評価損	0	0	0
固定資産売却損・処分損	180,269	909,891	-729,622
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	-20,479	20,479
国庫補助金等特別積立金積立額	19,273,000	15,628,850	3,644,150
災害損失	0	0	0
サービス区分間繰入金費用	0	0	0
サービス区分間固定資産移管費用	0	0	0
その他の特別損失	1,926	12,284	-10,358
特別費用計(9)	19,455,195	16,530,546	2,924,649
特別増減差額(10)=(8)-(9)	5,051,456	449,614	4,601,842
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-35,916,143	201,724,576	-237,640,719
前期繰越活動増減差額(12)	3,758,789,232	3,807,993,981	-49,204,749
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	3,722,873,089	4,009,718,557	-286,845,468
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	145,600,000	0	145,600,000
その他の積立金積立額(16)	9,349,325	250,929,325	-156,580,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	3,774,123,764	3,758,789,232	15,334,532

## 法人単位貸借対照表

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	1,883,853,306	1,786,806,733	97,046,573	流動負債	375,579,404	329,665,771	-17,086,367
現金預金	1,162,176,787	1,085,151,388	77,025,399	短期運営資金借入金	63,100,438	69,199,691	-6,099,253
事業未収金	609,627,223	617,153,011	-7,525,788	事業未払金	6,214,696	10,727,792	-4,513,096
未収金	2,524,201	2,724,790	-200,589	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	108,135,335	77,327,576	30,807,759	社会福祉連携推進業務短期運営資金借入金	0	0	0
未収収益	0	0	0	1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	13,500,000	13,500,000	0
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金	0	0	0
給食用材料	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	12,469,388	9,778,748	2,690,640
商品・製品	297,795	275,932	21,863	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
仕掛品	0	0	0	前受金	112,871	111,536	1,335
原材料	461,588	320,589	140,999	未払費用	54,451,022	55,058,367	-607,345
立替金	0	0	0	預り金	118,765	66,415	52,350
前払金	19,800	19,800	0	職員預り金	34,839,351	36,039,186	-1,199,835
前払費用	702,536	3,833,647	-3,131,111	前受金	0	0	0
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務長期貸付金	0	0	0	前受収益	0	0	0
社会福祉連携推進業務短期貸付金	0	0	0	仮受金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	賞与引当金	190,772,873	198,184,036	-7,411,163
仮払金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0				
貸倒引当金	0	0	0				
徴収不能引当金	-91,959	0	-91,959				
固定資産	8,090,770,155	8,368,536,036	-277,765,881	固定負債	128,753,100	125,750,688	3,002,412
基本財産	4,550,262,646	4,768,624,000	-218,361,354	社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0	0	0
土地	728,178,768	728,178,768	0	設備資金借入金	0	13,500,000	-13,500,000
建物	3,822,083,878	4,040,445,232	-218,361,354	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金	0	0	0
その他の固定資産	3,540,507,509	3,599,912,036	-59,404,527	リース債務	39,677,964	28,469,832	11,208,132
土地	12,400,000	12,400,000	0	退職給付引当金	86,575,136	81,280,856	5,294,280
建物	1,865,878	2,209,023	-343,145	長期未払金	0	0	0
構築物	135,117,573	150,526,937	-15,409,364	長期預り金	2,500,000	2,500,000	0
機械及び装置	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
車両運搬具	11,272,510	9,047,974	2,224,536	負債の部合計	504,332,504	518,416,459	-14,083,955
器具及び備品	116,802,589	125,035,725	-8,233,136	基本金	194,131,464	194,131,464	0
建設仮勘定	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	2,404,547,956	2,535,267,166	-130,719,210
有形リース資産	39,238,720	21,305,500	17,933,220	その他の積立金	3,097,487,773	3,148,738,448	-51,250,675
権利	2,953,570	3,355,369	-401,799	施設設備整備積立金	2,483,327,773	2,572,478,448	-89,150,675
ソフトウェア	3,307,233	7,859,217	-4,551,984	施設整備等積立金	49,200,000	45,500,000	3,700,000
無形リース資産	12,908,632	16,943,080	-4,034,448	人件費積立金	564,960,000	530,760,000	34,200,000
社会福祉連携推進業務長期貸付金	0	0	0	次期繰越活動増減差額	3,774,123,764	3,758,789,232	15,334,532
退職給付引当資産	86,575,136	81,280,856	5,294,280				
長期預り金積立資産	2,500,000	2,500,000	0				
施設設備整備積立資産	2,483,327,773	2,572,478,448	-89,150,675				
人件費積立資産	564,960,000	530,760,000	34,200,000				
施設整備等積立資産	49,200,000	45,500,000	3,700,000				
差入保証金	1,385,000	1,385,000	0				
長期前払費用	16,692,895	17,324,907	-632,012				
その他の固定資産</							

プレーグあしたか

## 10周年記念式典を開催

プレーグあしたか10周年記念



令和5年9月10日（日）、プレーグあしたか10周年記念式典を敬老会も兼ねて執り行いました。入居者と多機能利用者、入居者ご家族14名、ボランティア表彰者6名が出席しました。開会前に「スライドで振り返る10年」を上映し、この10年のあゆみを懐かしい写真とともに振り返りました。式典は、石川理事長の挨拶に始まり、理事長による長寿者の表彰を行いました。代表者は、この9月に104歳となられる佐野ます子様で、皆さんのお祝いの拍手に「ありがとう」としっかり答えていました。続いて長年ボランティアとしてプレーグあしたかを支えていただいている6名の方の表彰を行いました。普段敷地内の清掃や草刈り、野菜の栽培や花壇の整備等をしていただいております。6名の方からは「体力の続く限り継続したい」「これからも趣味を活かして貢献したい」などのお言葉がありました。この後、託児所を利用する子供たちからのお祝いとして富士山の歌やお年寄りとのプレゼント交換があり、また職員からは有志によるエイサーの披露がありました。一連のお祝いに対し、入居者を代表して開所以来入居されている小池清二様より「10周年おめでとうございます。これからも長生きできるように頑張りたい」と感謝の意がありました。最後は宮代施設長から「今後も利用者からプレーグあしたかで良かったと思われるようなサービスを提供していきたい」との閉会の辞で締めくくられました。この式典に合わせて「10周年記念誌」も発行し、ご家族とご協力いただいた方々に配布しました。

い」と感謝の意がありました。最後は宮代施設長から「今後も利用者からプレーグあしたかで良かったと思われるようなサービスを提供していきたい」との閉会の辞で締めくくられました。この式典に合わせて「10周年記念誌」も発行し、ご家族とご協力いただいた方々に配布しました。



春風会では、今年みはるの丘浮島が開設20周年、伊豆中央ケアセンターが開設30周年を迎えます。プレーグあしたかも両施設のように20周年、30周年を迎えられるよう職員一同精進していく所存です。



- 春風会法人本部・特別養護老人ホームあしたかホーム  
〒410-0302 沼津市東椎路1742-1  
TEL (055) 967-1166 (代) FAX (055) 967-3566
- 特別養護老人ホーム伊豆中央ケアセンター  
〒410-2402 伊豆市大野304  
TEL (0558) 72-8111 (代) FAX (0558) 72-7297
- 特別養護老人ホームめぐもりの里  
〒410-2315 伊豆の国市田京1258-29  
TEL (0558) 76-6700 (代) FAX (0558) 76-7511
- 特別養護老人ホームみはるの丘浮島  
〒410-0318 沼津市平沼929-1  
TEL (055) 969-3355 (代) FAX (055) 969-3385
- 障害サービス 生活介護 沼津虹の家  
〒410-0302 沼津市東椎路1742-1  
TEL (055) 967-2220 (代) FAX (055) 967-3566
- 障害サービス 生活介護 あおばの家  
〒410-2315 伊豆の国市田京1258-47  
TEL (0558) 76-6702 (代) FAX (0558) 76-6702
- 障害サービス 就労継続支援B型 もくせい苑  
〒410-2315 伊豆の国市田京1258-47  
TEL・FAX (0558) 76-6755
- 原高齢者福祉センター  
〒410-0312 沼津市原1200-3  
TEL (055) 968-4510 (代) FAX (055) 968-4511
- ふれあいデイサービス (デイサービス一般型)  
〒410-2505 伊豆市八幡33-1中伊豆ふれあいプラザ  
TEL (0558) 83-3380 (代) FAX (0558) 83-3380

- 天城放課後児童クラブ  
〒410-3213 伊豆市青羽根47  
TEL (0558) 87-1080
- 中伊豆放課後児童クラブ  
〒410-2505 伊豆市八幡33-1中伊豆ふれあいプラザ  
TEL (0558) 83-2911
- 救護施設 沼津市立高尾園  
〒410-0001 沼津市足高156-1  
TEL (055) 921-5722 (代) FAX (055) 921-5723
- ケアハウスはるかぜ  
〒410-0318 沼津市平沼929-1  
TEL (055) 969-3382 (代) FAX (055) 969-3385
- 小規模多機能施設 北狩野ケアセンター  
〒410-2401 伊豆市牧之郷116番地  
TEL (0558) 72-8811 FAX (0558) 72-8860
- 地域密着型特別養護老人ホーム プレーグあしたか  
小規模多機能型居宅介護支援事業所  
〒410-0302 沼津市東椎路1639-1  
TEL (055) 967-3400 (代) FAX (055) 967-3401
- 地域密着型介護老人福祉施設 プレーグおおひと  
〒410-2318 伊豆の国市白山堂408-9  
TEL (0558) 76-7300 FAX (0558) 76-7299
- 障害サービス グループホーム なぎの家  
〒410-2315 伊豆の国市田京1258-437  
TEL・FAX (0558) 77-1017
- 地域活動支援センター サポートセンター絆  
〒410-2315 伊豆の国市田京1259-293  
TEL・FAX (0558) 77-1221

- 複合施設 ふらっと月ヶ瀬  
〒410-3215 伊豆市月ヶ瀬408-1
- あまぎ認定こども園  
TEL (0558) 85-2030 FAX (0558) 75-8880
- あまぎデイサービス (デイサービス一般型)  
TEL (0558) 85-0816 FAX (0558) 75-8201
- 就労継続支援B型 事業所プラム (障害サービス)  
TEL (0558) 85-1919 FAX (0558) 75-8201
- プラムカフェ  
TEL (0558) 85-2551 FAX (0558) 75-8201
- 片浜・今沢地域包括支援センター  
〒410-0874 沼津市松長12-3  
TEL (055) 969-7050 FAX (055) 968-2177
- 伊豆市修善寺地区地域包括支援センター  
〒410-2414 伊豆市本立野531-1  
TEL (0558) 99-9301 FAX (0558) 99-9302
- なかいず認定こども園  
〒410-2505 伊豆市八幡282-1  
TEL (0558) 75-2810 FAX (0558) 75-2811
- はら居宅介護支援事業所  
〒410-0311 沼津市原町中2-7-11  
TEL (055) 941-8333 FAX (055) 941-8334